

## 平成 27 年度車両規制期間中のシャトルバス利用状況について

## 1. 平成 27 年度車両規制期間中のシャトルバス利用状況

車両規制を行った 30 日間全体を通して、本年度のシャトルバス乗車人数は 13,236 人（昨年度は 35 日間の運行で 12,382 人）であった。8 月と 9 月の 2 期に分けての車両規制を設定した平成 23 年度から本年度までの過去 5 年間の中で、最もシャトルバス運行期間が短かったにも関わらず全体の乗車人数が最多であった。

シャトルバス利用者の行先別の乗車割合を図 1 に示す。知床五湖を行先としたバス利用者は全体の 13.1%で、昨年(17.0%)より低下した。過去 2 年は知床五湖駐車場の渋滞を避けるためのシャトルバス利用が進んだ可能性が示唆されていたが、今年度はカムイワッカを行先としたバス利用者が増加した。バス利用者全体の内、カムイワッカの利用者数が過年度の中で最多であった。

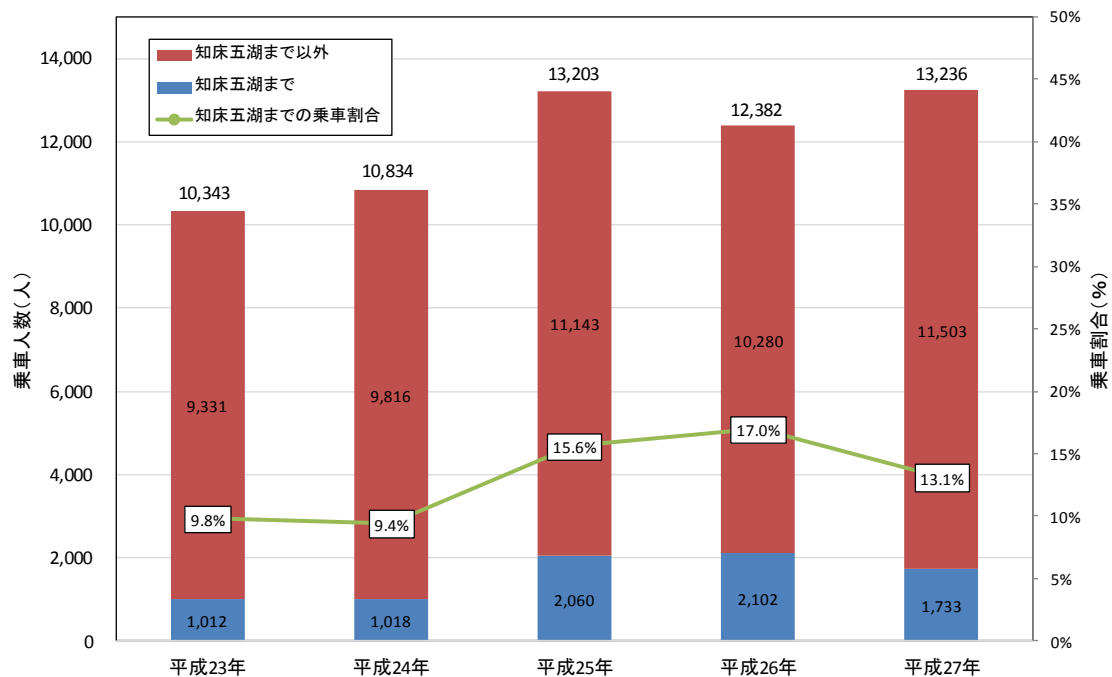


図 1 行先別シャトルバス乗車割合

過去 3 年間の日ごとのシャトルバス乗車人数の推移を図 2 に示す。8 月のお盆期間中の利用が多く、8 月 14 日に期間中最多乗車人数である 1,042 人（昨年度最大乗車人数は同日の 1,039 人）を記録した。それに次いで連休期間中である 9 月 21 日は乗車人数 937 人を記録した。これは過去 3 年間の 9 月の車両規制期間の中では最大の乗車人数であり、シルバーウィークの 5 連休によるバス利用者の増加が原因と考えられる。全期間を通しての平均乗車人数を見てみると、本年度の日平均乗車人数は 441 人（昨年度は 354 人）で、8 月中の日平均乗車人数は 432 人（昨年度は 412 人）、9 月は 486 人（昨年度は 207 人）であった。

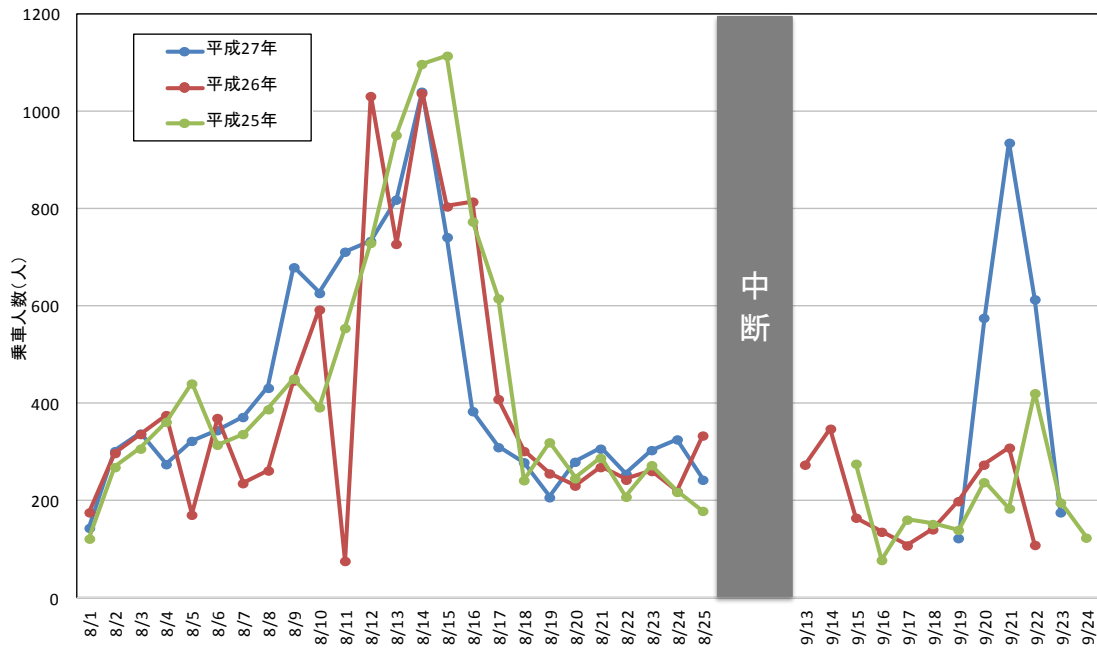


図2 過去3年間の日ごとのシャトルバス乗車人数の推移

車両規制期間中に斜里町ウトロを訪れた観光客の内、シャトルバスを利用している割合がどの程度占めるか考察した。一般的に観光客が観光情報収集のため立ち寄ると考えられる同地域内の代表的な観光複合施設として、道の駅うとろ・シリエトクの日平均来館者数と、シャトルバス日平均乗車人数を過年度と比較した。図3に示す通り、平成23年度以降道の駅日平均来館者に対するシャトルバスの日平均乗車人数が占める割合は年々増加傾向にある。

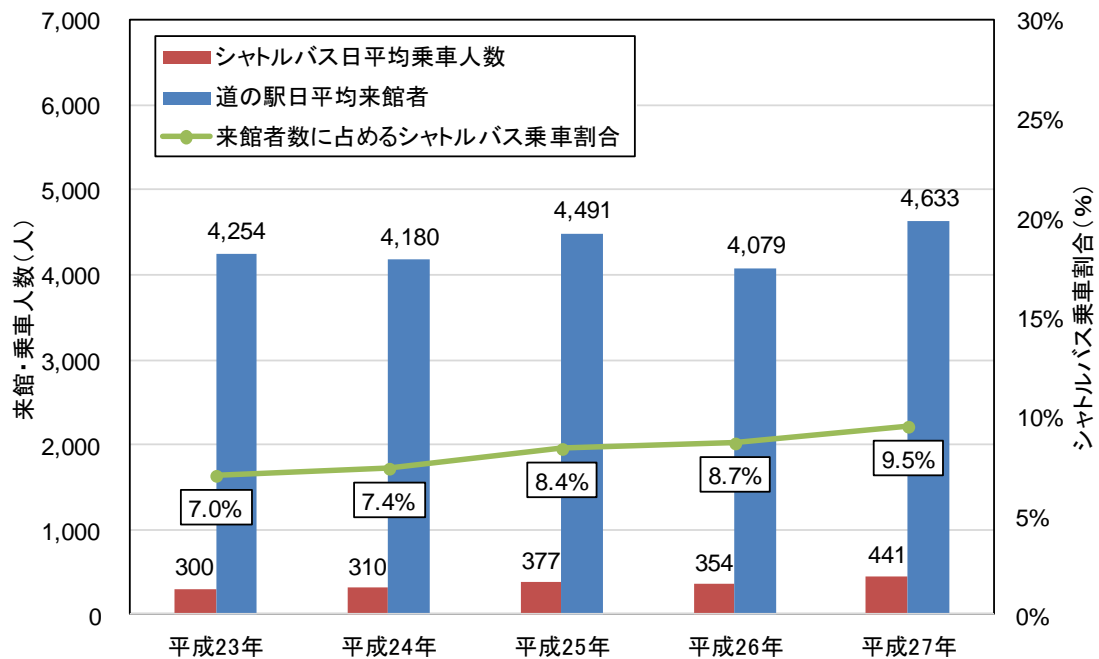


図3 車両規制期間中の道の駅来館者数とシャトルバス乗車人数の日平均比較